

## 出版指標

NEWS RELEASE

公益社団法人 全国出版協会

出版科学研究所

## 2023年出版市場

## 紙+電子は2.1%減の1兆5,963億円、紙が6.0%減、電子が6.7%増

出版業界の調査研究機関である（公社）全国出版協会・出版科学研究所（所在地：東京都新宿区 理事長：浅野純次）は、2023年（1～12月期累計）の出版市場規模を『季刊 出版指標』2024年冬号（1月25日発売）で発表しました。紙と電子を合算した出版市場（推定販売金額）は、前年比2.1%減の1兆5,963億円。2年連続の前年割れとなりました。内訳は、紙の出版が同6.0%減、電子出版が同6.7%増。紙の出版は書籍、雑誌ともにマイナス。電子出版は、電子コミックはプラスでしたがそれ以外は減少しました。

## 紙市場は1兆612億円、書籍は4.7%減、雑誌は7.9%減

2023年の紙の出版物（書籍・雑誌）の推定販売金額は前年比6.0%減の1兆612億円。内訳は書籍が同4.7%減の6,194億円、雑誌が同7.9%減の4,418億円。書籍は文芸・学参のジャンルは健闘したものの全体では減少しました。雑誌は月刊誌（ムック、コミックス含む）が同7.2%減の3,728億円、週刊誌が同11.3%減の690億円。月刊誌の内訳は定期誌が約5%減、ムックが約7%減、コミックス（単行本）が約10%減。創復刊点数は過去最低の25点。『週刊朝日』など歴史ある雑誌が次々と休刊、刊行変更や合併号で刊行本数を減らす動きも目立ちました。コミックスは映像化作品を中心に新たなヒット作品が生まれているものの前年の規模を大きく下回りました。

## 電子出版市場は5,351億円、電子コミックは7.8%増、電子書籍は1.3%減

2023年の電子出版市場は同6.7%増の5,351億円。内訳は電子コミックが同7.8%増の4,830億円、電子書籍が同1.3%減の440億円、電子雑誌が同8.0%減の81億円でした。電子コミックは各ストアの広告出稿や活発な施策で堅調を維持し、シェアが電子出版全体の9割に達しました。縦スクロールコミックも好調です。電子書籍はライトノベルや写真集は比較的好調ですが、文芸やビジネス書、実用書などは不振。電子雑誌は、減少幅はゆるやかになりましたが、占有の高い定額読み放題サービス「dマガジン」の会員数減少が続いています。

## ■ 紙と電子の出版物販売金額

年		2018	2019	2020	2021	2022		2023		占有率 (%)
						前年比	(億円)	前年比 (%)		
紙	書籍	6,991	6,723	6,661	6,804	6,497	95.5	6,194	95.3	38.8
	雑誌	5,930	5,637	5,576	5,276	4,795	90.9	4,418	92.1	27.7
	紙合計	12,921	12,360	12,237	12,080	11,292	93.5	10,612	94.0	66.5
電子	電子コミック	2,002	2,593	3,420	4,114	4,479	108.9	4,830	107.8	30.3
	電子書籍	321	349	401	449	446	99.3	440	98.7	2.8
	電子雑誌	156	130	110	99	88	88.9	81	92.0	0.5
	電子合計	2,479	3,072	3,931	4,662	5,013	107.5	5,351	106.7	33.5
紙+電子	紙+電子合計	15,400	15,432	16,168	16,742	16,305	97.4	15,963	97.9	100.0



## 『季刊 出版指標 2024年冬号』

頁数：85ページ

判型：B5判

発売：2024年1月25日（年4回 25日発売）

頒価：4,400円（本体4,000円+税）送料別

【第1特集】2023年 出版物発行・販売概況

【第2特集】2023年 電子出版市場

【第3特集】書店活性化ツールとしての分冊百科

&lt;本件に関するお問い合わせ&gt;

公益社団法人 全国出版協会・出版科学研究所 担当：原・柴田

〒162-8710 東京都新宿区東五軒町6-24 TEL 03-3269-1379 FAX 03-3266-1855

<https://www.shuppankagaku.com>